

指定管理者管理運営評価シート

別紙 2

平成 28 年度

1 施設の概要

指定管理施設名 (施設所管課)	稲美町立いなみ野水辺の里公園 (教育政策部 生涯学習課)
指定管理者	NPO 法人 環境ユースイングてんま 代表者氏名 小村 徹
指定管理期間	平成 26 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日
指定管理委託料	11,555,000 円 (平成 28 年度)

2 指定管理者による自己評価

評価項目	事業計画	実績	自己評価	
運営状況	・開館日数・開館時間等	<ul style="list-style-type: none"> ・306日 9:00~17:00 ・設管規則第2条第3条を遵守した運営管理。 ・繁忙が予想される時期は対応人数をシフトさせる。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な開館日数、開館時間の管理に徹し、課外学習を重視した展示と対応をこころがけている。
	・委託事業、自主事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・自然体験イベント、セミナーの実施、環境学習の受け入れ。地域福祉課、連携する NPO 団体とのイベントに対応した協力を実施した。 ・「東播磨地区子ども会議」では、講師派遣の依頼を受け、一年間にわたり準備を重ね、子どもたちに自然を感じさせる体験をあたえられた。 	S	<ul style="list-style-type: none"> ・従来の体験学習の指導や内部で養成した有資格者による事業が実施できた。 ・県東播磨管内の行政、連携する NPO との日常的な協議を重ねることが、諸事業を実施するには大きな支えになっている。 ・いろいろな生きものを扱う時、サポーターの方の専門知識を活用できるのは大変ありがたい。
	・利用者の満足度	<ul style="list-style-type: none"> ・開園 20 周年(平成 27 年度)記念行事以降、イベント・セミナー:夏祭り、夏休み工作教室などの参加者が増えた。 ・就学前保育のための公園利用、自然を活用するための使用が増えてきている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・主要な運営事業の参加者募集時には即定員超えの状況である。 ・特に幼児の園内利用は、ほぼえましい限りである。そういった来園者のため園内の安全対応には心配りが重要と考えている。
	・その他(特記事項)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携事業:ため池ミュージアム事業に位置付けた「環境啓発事業」で外来種駆除を取り上げ、専門講師、学校等に支援を得て実施した。(夏祭り開催時に実施) ・地域福祉課コスモス児童館と協働し 	S	<ul style="list-style-type: none"> ・左記事業は、県東播磨県民局、ため池協議会、町行政、NPO 団体、あるいは専門講師と諸々協議を重ねながら取り組んだことで、当法人としては地域連携、協働事業について相当のポテンシャルを

		<ul style="list-style-type: none"> た「親子のつどい」を実施した。 東播磨地区 NPO 団体と連携し、福島で被災した厳しい環境が続く約 20 名の小学生を受け入れた。(2 年目) 新規事業として、学童保育を専門とする NPO 法人と連携して「子どものまち」を町内で初めて開催した。 次年度(平成 29 年度)対応として、兵庫大学の教員との縁を得て学生が参画した連携事業が可能か協議を重ねている。 		<p>得たと感じている。これらの実績評価をふまえて、ここ数年の来園者のアンケート結果を分析することにより、当法人のいい面悪い面を浮かび上がらせていく必要があり、次年度以降の「事業計画」に反映させる必要があると考えている。</p>
施設維持管理	<ul style="list-style-type: none"> 清掃 植栽等管理 警備 設備保守 修繕 	<ul style="list-style-type: none"> 清掃、警備の委託先との密接な連絡による管理。 保守、修繕は、日常点検を詳細に行い、早めの対応を実施。(橋の補修、看板設置) 橋(せせらぎ)の木床板改築工事の施工(町施工) 	A	<ul style="list-style-type: none"> 園内整備は、セミナーに対応しながら年間計画を立て、草木の剪定を実施した。 せせらぎ橋を応急処置するなど安全上の保全に注力している。 学習棟をはじめ、園内各施設の点検は、安全管理の面から重要事項と考えている。
	<ul style="list-style-type: none"> その他(特記事項) 	<ul style="list-style-type: none"> 水路管理:水量の低下などにより、水中の生き物の生育に悪い面が出た。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ザリガリの減少で、各小学校の課外活動の子どもたちに行きわたらなかった。
利用状況	<ul style="list-style-type: none"> 利用者数 	48, 824人/年		<ul style="list-style-type: none"> 家族連れが増加。様々な年代の来園者が増えた。
	<ul style="list-style-type: none"> 施設稼働率 	160人/日	A	<ul style="list-style-type: none"> 催物の開催により、新たな来園者を開拓した。
収支状況	<ul style="list-style-type: none"> 収支計画 	<ul style="list-style-type: none"> 運営事業が増加傾向にあり、充当する費用捻出に苦慮している。 各種助成金の案内に対しては積極的に申請している。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 各費目の予算は、月次単位にて管理している。 合せて、財務体質の改善を考え、維持修繕費にも充当させる必要がある。
	<ul style="list-style-type: none"> 経費削減の取組み 	<ul style="list-style-type: none"> 社員それぞれの強みを活かし、できるものは社員で対応した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 間伐材の利用や、地元各団体、サポーターの協力で各種事業を実施。
運営体制	<ul style="list-style-type: none"> 人員配置 	<ul style="list-style-type: none"> 運営事業ならびに公園の季節状況にあわせた適正な人員を配置した 	A	<ul style="list-style-type: none"> 運営状況に合わせた臨機応変な人員配置に努めた。
	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理体制 	<ul style="list-style-type: none"> 防犯、景観に留意した伐採、体制の強化の実施。 スズメバチなどの害虫対応のため、日常点検および来園者からの情報提供の呼びかけをした。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理体制の充実。災害を想定した点検と勤務対応を心がける。 来園者の安全を第一とした管理が必要と認識している。
	<ul style="list-style-type: none"> 苦情要望等への対応 	<ul style="list-style-type: none"> 苦情に対して、早急対応、所轄課への適宜な報告。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 施設管理と自然調和ならびに運営事業の理念に基づき対応している。
	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の保護及び情報公開 	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンスの事例による周知。情報公開への確認。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 公園だよりやブログ、写真掲載などに対し、許諾を必須条件としている。

	・その他（特記事項）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働による管理。 ・さかなのおうちの安定した管理。 ・チョウに関して情報発信し、新聞で掲載される 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ サポーターの方による標本の整備、園内のチョウの生態調査の実施。希少種の啓蒙など指導助言を得ながらマスキミなどへ対応している。
		総合評価	A	東播磨地区各種団体などとの協働を生かし、来園者の方のための公園管理と運営事業の充実を図った。

3 施設所管課による一次評価

総合評価	A
------	---

新たに東播磨地区のNPO団体等との連携事業を企画し、創意工夫して財源を確保しながら、積極的に事業を展開している。その結果として、新たな利用者の開拓や、リピーターの確保につなげている。

施設の維持管理は、協定書等に基づき適正に行われており、季節の移り変わりを反映した講座実施に向けて、地域のボランティアやサポーターとともに準備を行うなど、経費節減ともに地域との協働を図っている。

町内外の幼稚園や小学校を始めとする園児・児童の見学の受け入れだけでなく、県主催の事業の講師なども担当し、自然の姿を再現した公園のPRをしつつ、環境教育の一端を担った。

今後も水辺の里公園の名にふさわしく自然に親しむことのできる公園の魅力をさらに向上させつつ、より多くの住民の憩いの場となるように切に期待する。

4 内部検討委員会による評価

総合評価	A
------	---

管理運営については、協定書通りに行われていて適正である。

地域団体と連携したイベントや新規事業にも積極的に取り組んでいることは評価できる。引き続き来園者のニーズに応じた魅力的なイベント等の開催により、さらなる利用者の増加に努められたい。アンケートの結果から、利用者の高い満足度を得ていることは評価できる。今後とも施設が良好な状態が保たれるよう維持、管理に努められたい。

5 外部検討委員会による評価

総合評価	A
------	---

【運営状況】

- ・管理運営については、協定書通りに行われていて適正である。

【施設維持管理】

- ・日頃から施設の保守・修繕に努め、生き物の生育状況や施設の特性にあわせて施設を管理する中で、利用者の安全管理を徹底している点は高く評価できる。引き続き、施設・設備の点検及び保守に努められたい。

【利用状況】

- ・地域団体と連携したイベントを企画するなど、新規事業にも積極的に取り組んでいることは評価できる。
- ・引き続き来園者のニーズに応じた魅力的なイベント等の開催により、さらなる利用者の満足度向上に努められたい。
- ・専門性の高いボランティアを活用している点や地域の特性を踏まえて、施設の運営にあたっている点は高く評価できる。

【収支状況】

- ・収支状況については、指定管理料の範囲内で運営されており適正である。

【運営体制】

- ・アンケートの結果から、利用者の高い満足度を得ていることは評価できる。今後とも施設等が良好な状態が保たれるよう維持、管理に努められたい。
- ・アンケート方法などを検討し、より多くの世代から満足度調査をするべきである。
- ・事業の継続性の確保のため、若いスタッフを育成するなど、現在の指定管理の技術を次世代へ引き継いでいけるように配慮していただきたい。

【総評】

管理運営については、協定書通りに行われており、施設設置の目的である自然学習に適した施設の管理が行われている。また、自主事業の拡充に努めていることも高く評価する。

今後も、きめ細やかな施設維持管理に努めるとともに、アンケート調査等により利用者の意見の集約に努め、施設の持つ魅力を最大限に生かした事業を展開し、さらなる利用者の満足度向上に努められることを期待する。また、ブログの更新や広報誌を使った情報発信、新聞などのメディアへの情報提供に努めるとともに、ボランティアスタッフのやりがいにもつながるように取り組んでいただきたい。引き続き、地域住民が中心となった現在の管理運営体制を維持し、水辺の里公園の施設の魅力を最大限に生かした運営を次の世代にも引き継いでいけるよう、技術の継承もあわせてお願いしたい。